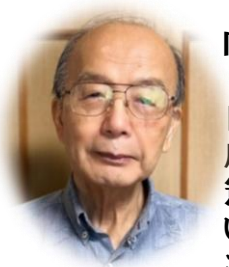
福島県九条の会ニュース

No.5
発行：福島県九条の会
2026年1月1日

年頭にあたって

福島県九条の会共同代表
今野順夫


（今野 共同代表）

新年おめでとうございます。新年が、憲法9条を活かし、世界平和の実現に向かって、前進する年になるよう、全力をあげなければなりません。

しかしながら、2025年10月21日に発足した高市政権は、26年間続いた自公政権から公明党が離脱し、日本維新の会との連立による辛うじての政権成立だが、両党連立の合意書は、憲法改悪を強力に推し進めるものである。憲法9条改正に関する両党の条文起草協議会を設置し、緊急事態条項について憲法改正を実現すべく、26年度中に条文案の国会提出を目指している。こうした日本国憲法の成文改悪をめざしながらも、憲法破壊の実質的改悪を、強引に進めている。

2015年成立の安全保障関連法において、自衛隊が出動できるとした「存立危機事態」に台湾有事を取り上げた高市発言をめぐって、中国との関係悪化を招いている。

26年度の政府予算案では、軍事費は当初予算として初めて9兆円を超え、補正予算の追加でGDP比2％を前倒し達成した25年度に続いて、当初予算でも2％に迫る規模となっている。高市政権は、トランプ政権の要求にこたえて、26年中にも「安保三文書」を改定し、GDP比3．5％、21兆円以上となるいっそうの軍拡に踏み出そうとしている。これによって、極超音速誘導弾など他国に撃ち込むための長距離ミサイルの開発・取得、攻撃用ドローン取得、次期戦闘機開発など、米軍とともに戦争する国づくりにむけたものが目白押しとなっている。

憲法改悪の動きが、実質的にも、形式的にも、強化されているこの時期に、急速に憲法改悪反対の輪を広げていくべきである。いわき市や喜多方市、南相馬市、伊達市等で、各地の九条の会が中心となった講演会・学習会も大きく成功し、映画会や展覧会も注目を浴びている。2024年8月から開始した「オンライン憲法塾」は、今まで16回の開催、延べ472人の参加があり、2026年5月30日に福島市で開催される東北九条の会交流会（渡辺治氏講演）の準備、さらに福島市内に建立予定の「九条の碑」も5月3日の除幕式に向けて、協力の輪が広がっている。網の目のように、運動を広げていく必要がある。

この中で、福島県九条の会事務局の強化も求められており、昨年から、加藤衛雄氏に事務局長をお願いし、既に運動の中心になっている。これまで、困難な中、事務局長で頑張っていただいた菅田俊雄氏に、心から感謝したい。多様な取り組みを、相互の協力によって成功させ、改憲勢力を大きな輪で追い詰めていこう。

ご挨拶：新事務局長　加藤衛雄

2025年5月から，菅田俊雄さんの後任として福島県九条の会事務局長の仕事を引き継いだ加藤衛雄です。

2008年3月に福島大学の事務職員を定年退職しましたが，福島県九条の会共同代表だった吉原泰助先生（故人）と真木實彦先生に誘われて事務局の仕事に携わることになり，主に広報を担当してメールニュースの編集配信・ホームページの更新等を行ってきました。

母親が実家の奥会津・金山町で一人暮らしだったため，奥会津と福島を行き来する生活の中で活動していましたが，2018年頃から数年間，生活拠点を奥会津に移す必要があって活動を中断し，2024年の夏から事務局の活動に復帰しました。

活動を中断した数年間で，単位九条の会構成員の高齢化など組織状況も変わっていて戸惑いもありますが，明文改憲を掲げて10月に発足した高市自民・維新連立政権の野望（①9条改憲，②緊急事態条項についての改憲，③安保3文書の前倒し改定による大軍拡，長射程ミサイルの整備，長射程ミサイルを搭載した原子力潜水艦の保有等，④衆議院議員定数の1割削減，⑤「スパイ防止法」の制定）を阻止するためにがんばりたいと思いますので，よろしくお願いします。

～「憲法9条の碑」建立にご協力を！　～

福島県九条の会では戦後80年・福島県九条の会発足20年を機に，県北地域の九条の会や民主団体等に「福島市に憲法9条の碑を建立する」運動を呼びかけ，9月28日（日）午前，福島市内で第1回実行委員会（略称「福島市に9条の碑を建てる会」）を開催しました。実行委員会には15団体から21名が参加して，建立計画と会則を決定し，役員に代表：今野順夫（県九条の会共同代表），副代表：齋藤和衛（福島医療生協副理事長），杉内清吉（県憲法センター事務局長），監事：小池一正（福島市九条の会世話人），目黒幸子（国民救援会福島県本部事務局長）の5氏を選出しました。

《憲法9条の碑建立の趣旨》

集団的自衛権行使容認を閣議決定し，敵基地攻撃能力保有と軍備拡大を進める高市自民・維新連立政権によって日本が戦争に巻き込まれる危険が強まるもと，軍事力ではなく対話と協力を通じて世界の平和を目指す憲法9条を守り抜いて次の世代に引き継ぐとの強い思いを，憲法9条の碑という見える形にする。

《9条の碑建立の意義》

① 平和への誓いの再確認：碑は，戦争のない世界を目指すという日本の誓いを具現化するもの。碑の存在は，日常の生活の中で平和の価値を忘れがちな人々に，その重要性を思い出させる機会を提供するものとなる。

② 教育的役割：碑は，学校教育や地域コミュニティの活動において，平和学習の教材や平和のシンボルとして活用でき，子どもたちや若い世代を含む市民に憲法9条の意義を伝え，平和を守る意識を育む場となる。

③ 未来に向けて：碑の建立は，一時的な行動ではなく未来にわたる平和の誓いを形にする試み。碑を通じて憲法9条の精神を継承し人々に平和の価値を伝え続けることができる。

《9条の碑概要》

① 設置場所：福島市渡利・瑞龍寺を予定地として11月に確定。

② 材質・形状：古殿町で石材業を営む岡部淳一さんから提供される御影石（花崗岩　縦 94 ㎝,横 245 ㎝）。

③ 碑文・デザイン：美術関係者によるWGを設置して材質を考慮したデザインを提案していただき，実行委員会で決定する。

④ 設置費用：デザイン決定後に見積もりを取って検討するが，約100万円を目安にする。

（提供される御影石）

《建立資金の集め方》

① 個人・団体に賛同募金を呼びかける。

② 賛同募金の額：個人一口1，000円，団体一口3，000円とし，複数口の協力を呼びかける。

③ 郵便振替口座は，記号番号：02220－9－64753　加入者名：福島県9条の会。
通信欄に「9条の碑建立募金」と明記していただく。

九条の会紹介 シリーズ⑤九条の会・喜多方

「青木理さん講演会」の取り組み

九条の会・喜多方事務局長
熊谷 純一

戦後 80 年守ろう！平和・暮らし・憲法
「今一番クールなジャーナリストが激動の日本を語る」

（講演会の様子）

このスローガンで青木理さんの講演会が行われました。真珠湾攻撃の日、12 月 8 日、喜多方プラザ文化センター 373 人参加でした。

九条の会・喜多方の呼びかけで、コープあいづ、耶麻喜多方平和フォーラム、喜多方市革新懇、憲法を暮らしに生かす市民の会、耶麻喜多方地区高齢・退職者連合会で「成功させる実行委員会]を作り、取り組んできたものです。この実行委員会には個人でも実行委員になり運営に参加していただきました。さらに会津若松市の主権者の会や坂下町や磐梯町・美里町などの九条の会の皆さんも協力していただきました。

主権者の会の事務局長の上嶋さんには大変お世話になりました。高市内閣が高い支持率を背景に反動的極右的政策を打ち出し、戦争国家体制を急速に推し進める中「憲法を暮らしに生かす会」が新たに加わっていただき、巾広く運動が広がって、これまでよりも多くの人とつながっていく運動だったと思います。

（青木 理さん）

「講演」の形式は青木さんからの要望で質問に答える形となりました。結果としては話も分かり、質問者の問いに丁寧に答える青木さんのお人柄にふれるような「講演」になり、好評でした。

実行委員会代表や女性、それに高校生の六人が壇上に上がり、九条の会代表が総合司会となって進められました。おもな質問は「憲法9条」「自衛隊を憲法に書き込む問題」「安保三文書と平和主義」「原発問題」「米を中心に国の農業問題、食糧安保」「スパイ防止法の危険性」「日本国内の基地特に沖縄の基地の強化は不安」「平和のために私たち個々人は何をすべきか」など多岐にわたりましたが丁寧に、かつ、たまにユーモアを交えて的確に答えていただきました。会場からの拍手もあり感想文も高評価でした。

（青木理さんを囲んで）

基地問題は「高校生」の質問でしたが丁寧に答えていただき、一生の思い出になると思います。

改憲勢力が政治的力を増しています。私たちは地域から声を上げ再び戦争に巻き込まれないよう頑張っていきたいと考えています。

ふくしま第２０回平和のための戦争展

８月１３日～１６日の４日間、福島市のコラッセふくしまで「２０２５ふくしま第２０回平和のための戦争展」が開催されました。来場者数は老若男女 1,000 名ほどでした。会場には「模擬原子爆弾模型」をはじめ第２次世界大戦下の過酷な戦争体験にかかわる様々な物を展示し、入口近くには「絵本」コーナーを設けるなど入場しやすい配置を心がけたとのことでした。また、開催後には県立福島高校の校内新聞「梅章」で特集として紹介されるなど平和への思いが若者にも広がりつつあります。

イベントのご案内

第１５回 九条の会東北交流会

「第１５回 九条の会東北交流会」が福島を当番に開催されます。
日程・場所・講演者等が決まりましたのでお知らせいたします。
※是非ご参加くださいますようスケジュールに「予定」をお願いいたします。

日時：２０２６年5月30日(土) 13:00～16:35
場所：福島テルサ（福島市上町 4-25）テルサホール　３階　会議室あぶくま

第１部　13:15～14:45
記念講演　　講師：渡辺　治さん（一橋大学名誉教授、九条の会事務局）
テーマ：『参院選後の政治状況（極右・排外主義の台頭、自民・維新の連立政権発足等）と明文改憲を許さず大軍拡など戦争体制づくりに反対するたたかい』
第２部　15:10～
各県交流　東北６県と市町村長九条の会連合から活動報告
※申し込み方法等は後日改めてお知らせいたします。

主催：九条の会東北交流会実行委員会

YouTube **または** zoom でのライブ配信を予定しています。

「憲法９条の碑」除幕式　（予定）

主催：「憲法９条の碑建立実行委員会」通称「福島市に憲法９条の碑を建てる会」
除幕式予定日：２０２６年５月３日（憲法記念日）　場所：福島市渡利・瑞龍寺
※詳細は追ってお知らせいたします。

発　行　元　福島県九条の会
発行責任者　福島県九条の会共同代表　今野順夫
編 集 担 当　福島県九条の会事務局
加藤衛雄、菅野家弘、渡部幸一、長谷川秀輝
※投稿歓迎　ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

連絡先 ： 福島県九条の会
事務局長　加藤衛雄
〒960-8101
福島市上町 5-13　LM 上町 706
携帯　090-2981-6101
メールアドレスが変わりました！
E-mail:fks9jou@gmail.com